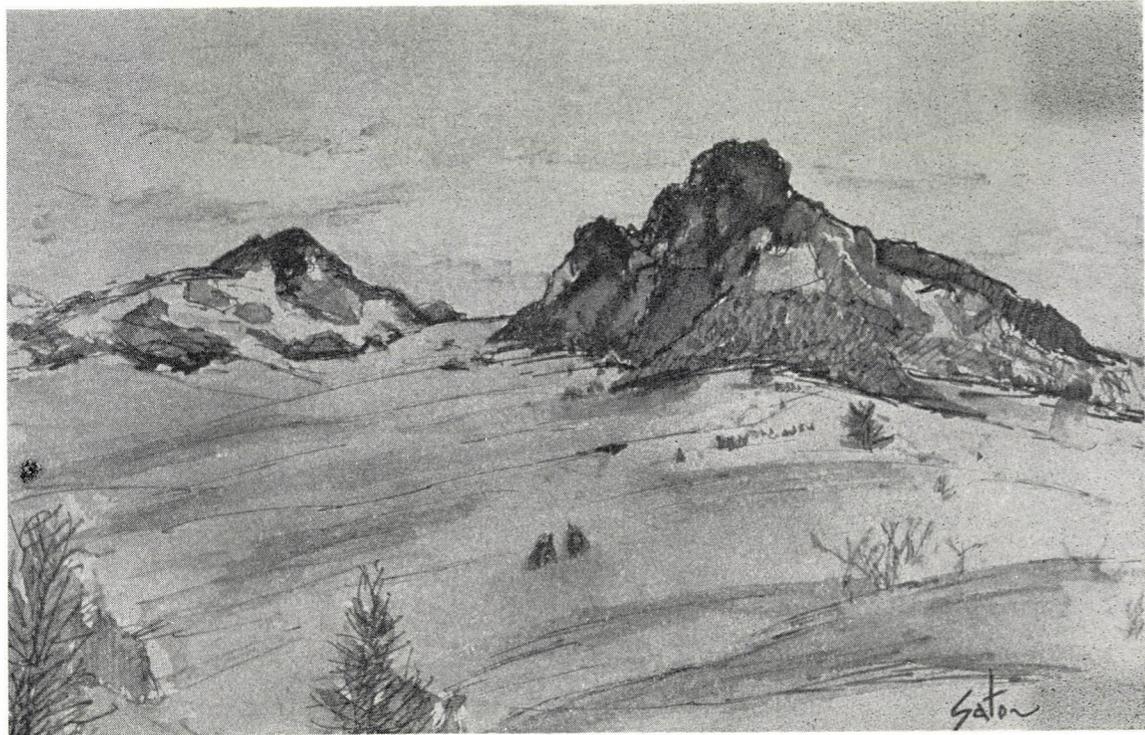


# 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) 21111 [代表]

人口	
— 2月28日現在 —	
9,728人	男 …4,744人 女 …4,984人
世帯数	2,619
転入	27 出生 6
転出	33 死亡 8



越敷岳

祖母山から西北に流れ、大分との県境をなす稜線の中でひとときわ特異な姿をした岩峯である。野尻側から見るとこの絵のように明るく開けた大らかな感じだが、山頂に立って大分県側を見ると、これが同じ山かと目を見張るほど絶壁と密林に覆われている。失礼な想像かも知れないが、何となく県民性の違いさえ思い出させるようだ。やはり故郷から見た方がいい。 <佐藤武之>

第224号 昭和53年 4月

### おもな内容

- 昭和53年度予算きまる……………(2)
- 3月町議会で可決した主な案件……………(3)
- (一般質問)……………(4)~(5)
- 春の交通安全運動はじまる……………(6)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌……………(7)
- お知らせ・お嫁さんにいいな……………(8)
- みんなの広場・解放の力……………(9)

5月7日	高森東 20309 院	4月30日	高森馬原 20646 院	4月23日	高森平田 20216 院	4月16日	南阿後藤 70019 院	4月9日	南阿藤本 70020 院
------	-------------	-------	--------------	-------	--------------	-------	--------------	------	--------------

**相澤 隆 先生**  
診療は午前9時から午後5時まで

# 町民文化

## 俳句

花の芽を探す足下心して  
萱屋根を解くる姿を惜しみつつ  
初午に町ぐるみなるお接待  
入日まで続く日溜り茸木組む  
焼芋の流しゆく声春夕べ  
娘は孫の話ばかりや春炬燵  
もの芽の覗きし天は冴え返る  
母の忌に心安らぐ春光り  
梅白く映は月夜となりけり  
湯煙りも川面に融けて春時雨  
お稲荷の祭り賑やかな  
山宿の客をもてなす春菜和へ  
着膨れて句会への道雪を蹴り  
受験せし孫の心になりしとき  
日脚伸ぶ主婦の座少しゆとりあり  
仏飯を猫にも与え春炬燵  
行く水に梅花の匂ひ託すかな  
馬連れて幸運稲荷初詣  
春寒や受験の娘見送りぬ  
初午や鳥居をくぐる柚の馬

## 肥後狂句

気色の悪さ どうもベバでは無アツワリ  
スランブ 作曲家にも罪のある  
裏口から 母が情けの戸の開かる  
気色の悪さ ウルトラ兵器作りおる  
餌 マナ鶴の来る阿蘇の谷

- 瀬井せん女
- 熊谷 紫雲
- 草村あつ代
- 藤井秋雪女
- 熊谷起代女
- 福間 宮女
- 甲斐 三也
- 熊谷あき子
- 江良あや女
- 野尻 誓道
- 瀬井てる女
- 草村 鶴代
- 熊谷こう女
- 馬原その女
- 野尻 里女
- 野尻さだむ
- 甲斐 菊江
- 原田 健正
- 長友たつ子
- 馬原 岳人
- 林田 一声
- 浦塚 南天
- 岡本 琴司
- 田上黙公子
- 林 不忘

## おめでた おくやみ

出生	S53. 2.16~3.15受付	
(住所)	(保護者)	(出生児)(性別)(生年月日)
下町	山口 修二	ゆかり 女 S53. 2.22
西丁	宇藤 仁	友美 女 53. 3. 8
中	本田 健一	美寿穂 女 53. 2.23
河原	吉良山靖雄	由美 女 53. 3. 2

死亡	(住所)	(遺族)(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
上	在	後藤今朝廣 妻	後藤 君枝	63	53. 2. 21
下	町	清田 秀幸 母	清田 秀子	69	53. 2. 23
上	町	本田 勝信 母	本田こまち	95	53. 2. 26
上	町	松田 トミ 夫	松田 富男	62	53. 3. 12
旭	通	野尻 金也 母	野尻テルカ	72	53. 3. 5
昭	和	野尻 英二 母	野尻ツギエ	67	53. 3. 9
矢	津	田 那須ミツエ 夫	那須 日高	78	53. 3. 12
尾	下	古沢 一喜 二男	古沢 好美	23	53. 2. 12
津	留	赤星 牛熊 妻	赤星 カツ	73	53. 2. 22
津	留	安藤 幸之 母	安藤 レイ	85	53. 2. 24
尾	下	甲斐 定國 二男	甲斐 國次	31	53. 3. 10

## 短歌

好きじゃある お茶に踊りに肥後狂句  
裏口から 錦飾らん御掃還ぞ  
好きじゃある 釣り堀りイ来とる松葉杖

臨終の浄(きよ)き天寿の顔覗く  
この衰えより生れ育ち来  
臨終の呼吸(いき)をみまもり  
脈を診るいま大往生のなかに疲る  
空を裂(き)る春雷鳴りて忽然と  
読経さなかに電(ひょう)降りて  
来ぬ  
また一つ明治の顔の去り逝きぬ  
阿蘇カルデラのなかり出でず

## (二) 寄付

- 上町 本田 紫郷
- ありがとうございました
- ▽高森下町の清田茂徳さんから(母、秀子さん・69歳死去)
- ▽大字津留の安藤幸之さんから(母、レイさん・85歳死去)
- ▽高森下町の松葉春光さんから(老人医療の払戻金を)
- △以上、町社協分
- ▽高森上在の後藤今朝広さんから上在老人クラブへ
- ▽大字津留の安藤幸之さんから老人クラブ「よもと会」へ
- ▽高森上町の本田勝信さんから町老人クラブ連合会へ
- ▽上津留の赤星牛熊さんから老人クラブ「あけぼの会」へ
- ▽高森旭通りの野尻金也さんから老人クラブ「あさひ会」へ
- ▽永野原の工藤正昭さんと下切の甲斐保さんから永野原老人クラブへ
- △以上、老人クラブ分
- ▽尾下の甲斐定国さんから尾下小
- △以上、学校分
- 馬原 馬笑
- 白根 音狂
- 林田 瑤子

# 度予算きまる

## 総額約17億2,458万円

### 教育、農林など重点に 前年比16%の伸び率

政府の財政施策に対応して、本町でも町民生活関連施設の整備、学校教育施設の改善、農林振興など具体的な推進を図るため、かなり積極的な予算編成にあたり、またした。したがって予算規模は五十二年度当初予算額の一六割伸び七十七億二千四百五十八万円となり、財源は地方交付税を筆頭に国庫支出金、町債資金と続き、このあと町税、県支出金などが主な順になっていきます。なかでも町債は前年度に比べると二・五・八割の伸びを示していますが、これは財源不足対策として措置された政府の地方財政計画の中の起債計画の波及

新年度の方向を決める三月定例町議会は三月十三日開会され、昭和五十三年度当初予算案を中心に各種条例案件などが審議され同日閉会しました。五十三年度予算は減速経済下の厳しい財政状況を勘案し、財政の健全化に努めるとともに財源のより効率的、重点的な配分に意を用い、重要度、緊急度の高いものについては厳選のうえ積極的な行政の推進を図ることとしております。そこで今月は町議会で議決された五十三年度予算総額十七億二千四百五十八万八千円のなかから主な施策について紹介してみます。

はもとより、建設事業を推進するための積極的な活用を図ったため、今後の事業の推移によってはさらに増額が必要と思われる。また自主財源の町税、使用料、財産収入などの一般財源は五十二年の四割から一三割と減退を示しています。

#### 議会・総務

議会費は通常の管理運営経費で総額四千五百二十一万六千円。前

#### 民生

選挙関係では、任期満了に伴う県知事選挙が予定されているため、その経費など六百五十一万八千円が計上されています。

町民福祉の増進を目的とした民生費は二億二千七百六千円で前年度に比べ八・七割増となっています。

老人福祉費では敬老会行事をはじめ、敬老年金、老人医療、老人健康診査、老人クラブ助成、老人スポーツ行事負担金、老人ホームの運営負担金などが主で六千二百九十九万八千円。地方

#### 保健・衛生

衛生費は六千六百五十三万七千円。対前年比は四八・三割の増。

衛生総務費では伝染病、し尿処理、ゴミ処理、母子センターなど一部事務組合の負担金を計上してあります。予防費関係では、町民の健康維持をさらに進めるため、成人病やガン検診、結核検診、また各種予防接種の必要経費八百七十五万二千円が計上されています。また害虫駆除のための防疫剤は、本年度も補助金が実施されます。これらの環境衛生費として、四百二十八万六千円が予算化されました。そのほか、火葬場の便所建設や草部、野尻地区のゴミ収集にも万全の体制がとられています。

#### 野尻に林業センターを建設

#### 農林・商工

農林水産にかわり本年度は、林構事業関連整備緊急対策事業が取り入れられ野尻地区に林業センターの建設が計画されました。また新規に農山漁村同和対策事業で農道久原線の改修や共同作業所の建設、トラクターの導入が予算化されています。

# みんなの広場



「学校」  
高森小3年 西川茂美

## 総合体育施設の建設望む

旭通り 住吉英明(56)

私が十数年持ち続けていた夢をみなさん方に紹介し、併せて町当局の早期実現をお願いしたいと思

います。それは町営による総合的な体育施設がほしいということ。手軽にできる野外および室内施設が一カ所あれば、いつでも、だれもが自由に楽しめる、知らず知らずの中に体力づくりもできるのではないかと思います。

働くことも、勉強することも大いに大切なことです。健全な娯楽、スポーツもそれに匹敵する大

事なことではないでしょうか。とくに若い人は、それを強く求めていると思います。

都府の財政施策に対応して、本町でも町民生活関連施設の整備、学校教育施設の改善、農林振興など具体的な推進を図るため、かなり積極的な予算編成にあたり、またした。したがって予算規模は五十二年度当初予算額の一六割伸び七十七億二千四百五十八万円となり、財源は地方交付税を筆頭に国庫支出金、町債資金と続き、このあと町税、県支出金などが主な順になっていきます。なかでも町債は前年度に比べると二・五・八割の伸びを示していますが、これは財源不足対策として措置された政府の地方財政計画の中の起債計画の波及

のためには五十年ぐらいの計画を町側で立案し、資金の積立て、設計、さらには一般への寄付金呼びかけなど具体化へ前進してほしいと思います。

## 松田議長 の御逝去を悼む

津留 馬原 範三

松田議長さんの逝去を知ったのは、三月十三日の午後二時過ぎでした。「また冬に引き戻されし阿蘇日和」外は祖母から吹きまわってくる身を切るような冷たい風。こたつの中で「新潮文庫」に読みふけていたときでした。今日から町議会が開かれるのに、正月入院以来加療中の経過について、みな憂慮していました。

松田議長さんの逝去を知ったのは、三月十三日の午後二時過ぎでした。「また冬に引き戻されし阿蘇日和」外は祖母から吹きまわってくる身を切るような冷たい風。こたつの中で「新潮文庫」に読みふけていたときでした。今日から町議会が開かれるのに、正月入院以来加療中の経過について、みな憂慮していました。

# 解放の力

最近「地名総鑑」ということをよく聞きませんが、いったいどんなことですか。

〔Aさん〕 そんな悪質なものが熊本にも出回っているのですか。

〔Bさん〕 遠くのことだと思いませんか。ところが熊本でもひそかに購入され、利用している会社があったので

## 許されぬ「地名総鑑」

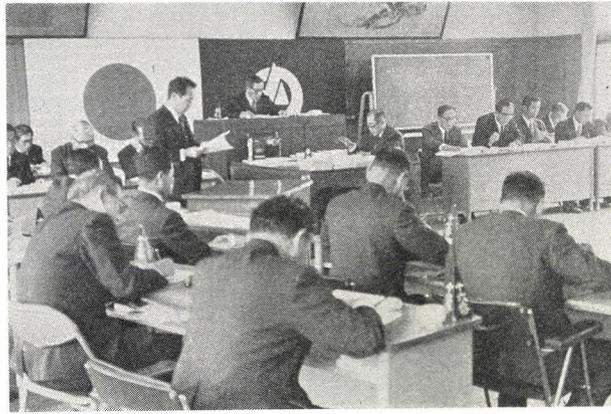
高森町同和推進教員の会

「結婚調査は決して本人の性格や家族状況調査だけでなく、祖母の墓の所在まで調べ、部落出身かどうかの割出しを行っていた」社長はうなだれて一言もありませんでした。図書購入後、県下の被差別部落に調査に行っている事実なども明らかにされました。

の新旧部落地名一覧を載せた図書が、ひそかに販売されているのです。それが「部落地名総鑑」であり、いわゆる差別を商品にしている本です。そこで部落解放同盟は三大闘争の一つとして「地名総鑑粉砕」を挙げています。

〔Aさん〕 そんな悪質なものが熊本にも出回っているのですか。

〔Bさん〕 遠くのことだと思いませんか。ところが熊本でもひそかに購入され、利用している会社があったので



**◆固定資産評価審査委員に工藤國智氏を選任**  
 本町の固定資産評価審査委員、本田季武氏の任期が五月十一日で任期が満了するため、その後任に永野原の工藤國智氏(五)を選任しました。

**◆高森町公民館設置案**  
 三月定例町議会

## 三月町議会で可決した主な案件

**例を一部改正**  
 同条例は三十一年に制定されたもので、実情にそぐわなくなったため改正したもので、次の各集会施設が公民館として併用されることになりました。

▽町民センター(中央公民館)  
 ▽基幹集落センター(草部南部地区公民館) ▽草北へき地集会所(草部北部地区公民館) ▽野尻へき地集会所(野尻地区公民館) ▽河原公民館(新設) ▽尾下小講堂(尾下地区公民館) ▽色見小講堂(色見地区公民館) ▽上色見小集

**◆高森町奨学資金貸付特別会計および高森町母子等福祉資金特別会計条例を廃止**  
 一般会計へ編入して、運用することが適切なため、この二つの条例を廃止しました。

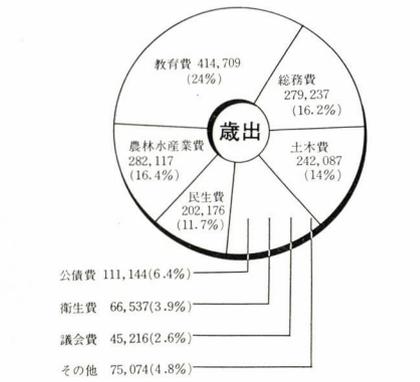
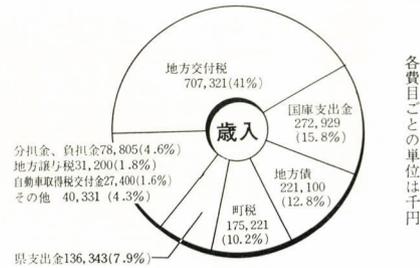
**◆町有林野の造林委託契約を締結**  
 村山造林組合(代表、三森幸喜氏)と、高森字城平の町有林野造林の委託契約を行いました。面積は約二万三千平方メートル。分収歩合は同造林組合が六割、町が四割。

**◆高森町奨学資金貸付特別会計および高森町母子等福祉資金特別会計条例を廃止**  
 一般会計へ編入して、運用することが適切なため、この二つの条例を廃止しました。

**◆町有林野の造林委託契約を締結**  
 村山造林組合(代表、三森幸喜氏)と、高森字城平の町有林野造林の委託契約を行いました。面積は約二万三千平方メートル。分収歩合は同造林組合が六割、町が四割。

# 昭和53年

## 一般会計



農林振興費では野尻に建設される「たばこ育苗乾燥施設」の建設助成金二百五十万円、さらに高森農協が建設する「野菜集荷施設」の助成金五百三十三万円、野尻農協で導入予定の機械施設の助成金六百三十六万三千円などが計上されました。

畜産事業費では保留牛奨励飼料代やへりによるダニ駆除負担金など七百七十四万五千円。農地費では継続事業で実施中の中原、老良原、河原、上津留の各農道改良舗装の経費をはじめ部落農道助成金、草部農道道路および大畑農免道路工事負担金など一億四千三百

八十六万三千円が計上されました。土工費は二千三百八十四万五千円。前年度の対比は五・八割の減です。主なものに町商工会助成金三百四十万円、中小企業安定資金利子補給金、鍋の平草地肥培助成そのほか各種団体に対する補助などを計上したほか自然遊歩道整備、SL管理委託、サクラ植樹ラクタ山公園、高森公園、多々野公園などの整備費が予算化されました。

**土木・消防** 土木費は二億四千二百八十七万七千円。前年度に比べ二・七割の増となっています。

土木管理では通常経費のほか、町道々路台帳整備の委託料五百万円が計上されています。道路橋りょう費では、維持管理の諸経費二千六百八十六万九千円、それに道路新設改良に要する工事請負費、設計委託料、原材料費、用地買収費、家屋移転補償費など一億七百四十六万八千円が計上されました。このほか草部南部地区の「ねずみ戸橋」と高森地区の冬野橋のかけ替え工事費も予算に組み込まれました。町営住宅関係では一種住宅四戸、二種住宅八戸を建設予定で、既設住宅の営繕費も入れて七千三十九万四千円が予算化されました。火災から町民を守るための消防費は三千二百五十六万九千九百円、前年度に比べ三六・

# 告知とせ

## 52年度保険料は四月末までに

一、二、三月分の国民年金の保険料は納められましたか。四月は五十二年度の締めくくりの納期となります。

四月三十日を過ぎた五十二年度の保険料は、銀行や町村の窓口では受付していませんので、直接、社会保険事務所に届けなければなりません。面倒だけでなく、五月以降に障害や母子などの事故がおきたときに、年金を受けられなくなる恐れがあります。もう一度お確かめになって、早目に納めておきましょう。

## 確定申告が間違っているときは

五十二年分の所得税の確定申告は三月十五日で終わりました。しかし、確定申告をした後で、内容が間違っていたことに気付いた方は、それを訂正することが出来ます。たとえば、税額を少なく計算し

ていたときは「修正申告」を、また税額を多く計算していたときは「更正の請求」をすることが出来ます。なお、確定申告を忘れていて申告していなかったときは申告期間後でも確定申告をすることが出来ます。

いずれの場合も、なるべく早く申告した方が有利ですから阿蘇税務署にご相談になってください。

## 雇用保険料の料率が改正に

五十三年度は雇用安定事業および建設労働者に対する福祉助成制度の新設に伴い雇用保険料率の改正が次のとおり行われることになっています。

【四月一日から】全ての事業について千分の〇・五引上げられ、千分の一三・五(特掲事業については千分の一五・五)となります。【十月一日から】建設の事業についての千分の一引上げられ、千分の一六・五になります。▽今回の引上げにかかる保険料は、いずれも事業主が負担することになっております。▽五十三年度概算保険料の計算に

## 労働保険料の申告納付はお早く

労働保険の五十三年度概算保険料および五十二年度確定保険料の申告納付は五月十五日までとなっております。期日は遅れないよう最寄りの銀行、郵便局、または県庁内雇用保険課に申告納付されま

お嫁さんにいいな

高森上庄 荒牧和美さん(20)

【趣味】生け花・手芸  
 △農用地開発公社勤務

## 4月25日から狂犬病の予防注射

お宅の愛犬は毎年、登録と予防注射をやっていきますか。町では五十三年度の登録と第一回目の狂犬病予防注射を四月二十五日から二十七日にかけて実施します。愛犬を狂犬病から守るために、最寄り

## 標準小作料が改定になりました

10アール当たりの標準小作料

地区名	等級	標準小作料	
		田	畑
高森	上	32,568	22,000
	中	27,139	16,500
	下	21,711	11,000
色見	上	—	—
	中	25,330	16,500
	下	—	—
草部	上	32,568	—
	中	25,330	16,500
	下	18,090	—
野尻	上	28,949	—
	中	23,521	16,500
	下	18,093	—

の会場必ず受けましょう。もし、登録・注射を受けていない飼犬を見かけた際は、保健所の捕獲員へ引き渡す場合があります。

【登録と予防注射の日程】  
 ▽4月25日 上色見農協(九時~十時)、色見農協(十時半~十一時半)、保健所高森支所(十四時~十六時)  
 ▽4月26日 草部北部農協(十時~十一時)、草部出張所(十四時~十五時)

賞品引替え早く  
 お年玉の当選ハガキ

お年玉つき年賀ハガキの賞品引替えは七月十九日までとなっておりますが、早目に郵便局へお出かけください。くじ番号は切り取らずそのまま窓口へ差出しましよう。

月に開かれた農業委員会で次のように新しい標準小作料が決定されました。今後、小作料を基準にとり決められるようお願いいたします。

なお四十五年十月一日以前からの賃貸借の場合は、五十五年九月三十日まで、農地一筆ごとに定められた小作料最高額統制が継続されます。詳しいことは農業委員会へお尋ねください。

(前頁からつづく)  
 一部の増です。  
 町営住宅下町B団地に四十トの  
 防火水槽ができるのをはじめ、消  
 火栓改良六基、ポンプ付積載車二  
 台、原野火災用の可搬散水器五十  
 基などの購入費も予算化されまし  
 た。

## 高森小校舎も改築へ

あすの高  
 森町を背負  
 って立つ、  
 児童生徒の育成という重要性を考  
 え、教育費は予算全体の二四割に  
 あたると見込んでいます。対前年比は三  
 割の伸び。小学校費では野  
 尻小学校の運動場整備、野尻、草  
 北、上色見各小学校の便所改修が

### 教育

計画されており、また本年度から  
 は二か年継続で高森小学校の改築  
 を行うため、それらの経費二億七  
 千七百八十三万四千円が計上され  
 ました。  
 中学校費では高森中学校の廃水  
 施設をはじめ野尻、草部中学校の  
 ゴミ焼却炉の設置、野尻、河原中  
 学校の便所改修と室内塗装、草北  
 中学校の理科教室増築などの諸経  
 費も含み三千二百四十五万五千円  
 が予算化されました。  
 このほか、草部南部のへき地教  
 員住宅(一棟、二世帯)の建設や  
 町誌編纂の経費なども計上され  
 ました。

## 3月定例町議会の 一般質問



一般質問に答える岩下町長

三月定例町議会の一般質問は開会八日目の二十日に行われ、高森小学校改築に伴う統合問題や保育園新設などを焦点に論議が繰りひろげられました。

## 政など焦点に

### 米飯給食週三回へ

#### 学校統合は住民の総意で

議員 本町の振興計画の策定にあたる  
 議員 本町メンバーはだれか。また策定にあたっては、町民の声は反映されているか。

佐伯経済課長 米の消費拡大運動は生産調整の問題と同様大切なことだ。しかし、各人には食品の自由選択が認められているし、押しつけ政策はかえって反発を買う恐れもある。農協や関係機関とも相談して、まず婦人会などを対象にした運動を展開していきたい。  
 議員 町内の学校では米飯給食を週二回実施しているようだが、いっそのこと完全な米飯給食に切り替えてはどうか。  
 今村教育長 学校給食施行規則が五十一年二月に改正され、従来

を祀ってあります。堂屋は地元の方々の熱意で再建されました。仏像は木像で清栄山から移したものとされていますが、頭上に十一面を頂き、正面の三面は静寂の相、左の三面は忿怒の相、右の三面は利牙上出の相、後方の一面は笑怒の相、頂上の一面は仏面の相といわれています。  
 堂宇前方に大願成就の石どうろう二基があり、また宝篋(ほうきょう)印塔(いんとう)がありま

後藤企画課長 町条例では町議員六人、地域代表四人、学識経験者四人が構成員とされている。振

の「パン」という明示が「パンまたは米飯」に変わった。県下の児童生徒の嗜好も六〇七〇割が米飯給食を希望しているといわれる。従って本町も米飯に切り替えてもよいわけだが、パン食を好む意見も根強く残っており、またパン業者との関係も、難かしい問題が残る。  
 県下の大半の学校が、週三日を米飯給食、二日をパン給食で実施している現状から、本町もさしあたって、五十三年度から週三日の米飯給食を試みたい。そのための炊飯施設費は予算化されている。  
 議員 高森小学校の校舎改築は五十三年度から二か年継続で計画されているようだが、学校統合審議会の経過はその後どのようになっているのか。  
 今村教育長 高森、上色見、色見の三小学校統合は、学校の位置が問題となって進展していない。このほど開かれた審議会では、結局、いろんな情勢からして、現在の高森小の位置が妥当だという結論となった。  
 議員 学校統合に対して上色

## 高森の歴史散歩

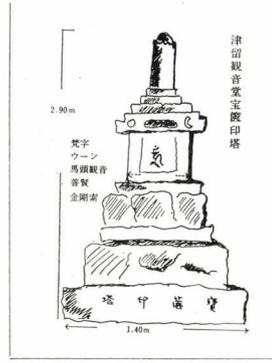
教育長 今村としお

野尻村の歴史については、赤星先生の美名録や原田先生の沿革略記などがありますが、往古のことについてはつまびらかにすることができません。

野尻郷は昔は野尻村、草部村で、細川氏入国以来手永となり、津留に会所が置かれました。明治三年以降、惣庄屋は里正、その後戸長に変わり、明治二十二年市町村制実施後野尻、草部の両村に分かれました。「肥後藩手永惣庄屋一覽」によりすると、正保元年(一六四四)野尻清右衛門が初代の惣庄屋とあります。前号に津留町のことを述べましたが、以前は鶴新町とも記録にあります。町の中央に観音堂があり十一面観音

### 野尻郷と津留観音堂

この塔は高森地方にはめずらしく、河内の夕塩にあるだけです。前面に梵が刻まれ、裏面に「願主野尻御惣庄屋、河瀬熊七、貞良、天保六年乙未七月吉日建之」と記され、さらに「天下泰平萬民和合」



と書かれています。宝篋印塔は「宝篋印陀羅尼經」を取める塔といわれ、わが国では平安末期からつくられ、徳川時代になって形も変わってきましたが、特徴は四隅に耳形突起があることといわれています。梵字は古代印度の表音文字で、仏教美術に多く用いられました。読解はなかなか困難ですが、正面の梵字は「ウーン」で馬頭観音の意と思われる

ます。天保六年(一八三五)乙未は今から百四十三年前ですが、当時の惣庄屋(行政の責任者)河瀬熊七氏が、野尻郷の平和と人々が仲良く暮らすことを願い、牛馬が栄えるように、馬頭観音に願をかけて建立したのと思われま

## 郷土の博物誌

③① も伴うので、農家にとっては真剣な年中行事の一つといえる。

川原のネコヤナギは春をみごもっているようにふくらみ、ウグイスの初音は、早春賦を奏で、野尻にも春のきざしは刻々と迫っているが、私の立っている大地は荒涼として、まだ深い枯草に覆われたままだ。どこにも、あの懐かしい緑の姿は見当たらない。どうして、この枯草が焼かれる野焼きがすまねばほんとうの春は訪れない。

### 迎春火 野焼き

野焼きは新しい草の芽吹きをうながし、牛馬の大敵であるダニの卵を退治するために、私たちの先祖が考え出した生活の知恵である。しかし、大きな危険



上最大のショウではないだろうが、ゴーツと地軸をゆるがす燃焼音をベースにピンピンとスキキがはせる金属的な音が入り乱

発行されていますが、村是逐行のため、「規時會」が組織され、従来の弊習を掃き、時間約束を守り、産業発展に努力するため、入会を勧め、米、麦、たばこ、たまねぎ、養蚕、畜産、林業の振興計画が具体的に記してあります。観音堂に参拝しこれらの記録をみますと、平和を祈り、村の発展に努力された郷土の先人のいさおしがありがたくしのびられます。

れて、まるで数万のコントラバスと、数十のピッコロで編成された楽団に取り巻かれているような感じだ。とくに、古枯野を走るすさまじい火炎のスピードや夜空を焦す火柱の乱舞は、何度経験しても圧倒される。自然も美しくなるために、やはりお化粧をするのか、野焼きのすんだ後は一面に黒々として、まるで女の人が顔にバックを塗っているようだ。しかし、やがて春の聚雨(しゅうう)が何度か訪れ、きれいにバックを洗い落とすと、女体のようにまろやかな草野や丘は、みるみるうちに萌黄(もぎ)色の若やいだ肌にも生まれ変わる。そして名実ともに春が訪れる。△佐藤武之▽

# 教育、農

見、色見両校区民からは感情的な問題は起きていないか。

今村教育長 統合審議会では、あくまでも地元住民の総意を尊重して、無理のない統合を基本方針にすることを進めている。これまで

見、色見両校区に各校区で開いた座談会をまとめると、上色見地区は、通学方法、統合の条件など不審な点を感じていないもの一応、統合審議会の結論に同調せざるを得ないという見解。また、色見地区は「三校統合の場合には位置を考えよ」「教育は百年の大計、いくら経費がかかっても教育優先にやるべきだ」「校舎を建築したあとで統合せよ」というのは筋が通らない。現在の高森小の位置で統合することに、強い反対の立場をとっている。しかし、五十五年四月開校をメドとしている以上、少くとも本

年八月までには住民の総意をまとめて、次の作業に入りたい。さらに今後座談会やアンケートを行

## 保育園新設さらに検討

議員 高森保育園の町立化および色見両地区の保育園新設についての考えは、

「岩下町長 高森保育園の町立化の請願は議会でも採択されているが、社会福祉法人の解散、残務整理等ができていないため見送りとなっている。また上色見、下色見

う一方、審議会を開いて最終的な結論を出すことにしている。

両地区の保育園設立については、両地区の中間点につくりたいと考えている。しかし、地元の合意がまとまらないので進展していない。このさい高森、色見、上色見を合わせ、二百十人程度の施設づくりも計画しているが、二億円程度の財源が必要であり、さらに十分な検討を加えなければならぬ。

議員 河原―大戸口線の舗装が終われば、これを機会に高森―色見―河原―津留―草北―高森を結ぶ環状線バスを走らせてはどう

か。

岩下町長 自家用車がふえているのに比例して、どの路線もバス利用者が少ない現状だ。バス会社は採算を重視するので新規路線の開通は慎重な態度をとっている。できる限りの働きかけを続けたい。

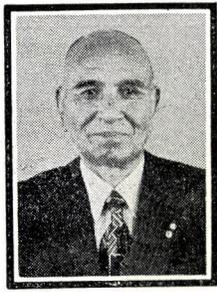
議員 野尻官行造林の係争はその後どうなっているか。

赤星管財課長 この事件は四十八年九月に、第十八回目の公判以来延期となっている。その間に裁判所側から弁護士を通じて和解の話があったが、「この係争地は町有地であることの基本線はくずさない」という弁護士の見解でそのままになってい。ところが、今年の三月八日に公判があり、その結果は弁論再開となった。次回公判は、五月十日に決定されている。

## 松田富男議長が死去

### 町葬で哀悼をささげる

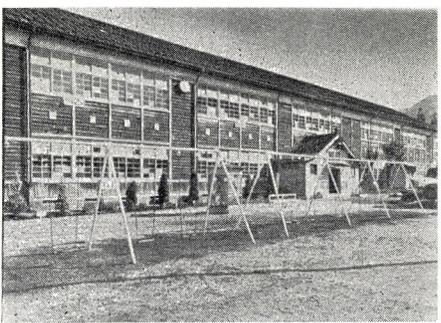
病氣療養中であった松田富男町議会議長(六三)の写眞は、三月十二日午後二時二十七分入院先の熊大病院で死去されました。葬儀は町葬で三月十六日、午後一時から高森小学校でしめや



かに行われ、遺徳をしのび町内他の各界の代表や一般町民約四百人が参拝しました。導師、衆徒の読経のあと、葬儀委員長岩下町長が「行財政ともに複雑多様化し、数多くの難問に直面しているとき、あなたのような優れた人材を失ったことは、本町にとって大きな損失です。なにとぞ安らかに眠りください」と追悼の辞を述べ、森町議会議長、楯野県町議長、会長らが弔辞を述べました。故松田議長は昭和四年三月、

昇立熊本工業学校土木科を卒業のあと朝鮮窒素肥料株式会社に入社、十六年八月華北窒素株式会社へ転勤、終戦とともに北支山西省大原市で残務整理にあたり、社業に精励されました。二十一年三月引揚げ後は家業の建設業を継ぐ一方、二十六年の町議選に初当選、以来連続七期、二十七年間、町議会議員に選ばれ、四十二年からは連続三期町議会議長に就任され、優れた識見、手腕で議会運営に当たられました。

また四十九年には県町村議長の会長を務め、全国町村議長会から自治功労者として表彰されるなど多くの表彰を受けています。



改築される高森小学校

議員 最近、減反政策と裏腹に開田がふえている。これに対し上部機関からどのような行政指導がなされ、町はどのような取り組みを行っているのか。

佐伯経済課長 現時点では個人の土地を自己の費用で、開田することについては法的な規制はできない。従って町はこれまでに合会や文書など機会あるごとに開田の自粛を呼びかけてきた。今年には地域農政の特別対策事業を計画しているので、地域の実態や農業者の要望を的確にとらえ、それに応じた対策を考えたい。

